

桜町本通り商店街 活性化計画



INDEX

- I. 桜町本通り商店街の現状の課題と分析
- II. 活性化の基本方針・コンセプトと主な事業
- III. 業種・業態の誘導方法
- IV. 個店の現状の課題と経営改善の方向
- V. 事業計画
- VI. 推進体制
- VII. 事業後の運営計画
- VIII. 活性化計画策定の活動報告

平成16年9月
桜町本通り商店街振興組合

I. 桜町本通り商店街の現状の課題と特徴

商店街が抱える主な課題

■業種に偏りがあり、商店街内での店と店の回遊が少ない

- ・22店舗のなかで衣料品・身の回り品、文芸品、家庭用品の取り扱い店が多く、とりわけ呉服(3店)、寝具(2店)、日用雑貨(2店)の店が多い。
- ・飲食料品の取り扱い店、飲食店が少ない。
- ・毎日必要なものを扱ったお店が少なく、逆に、必要に応じた目的買いの店が多く、商店街内の店舗間の回遊が少ない。

組合員22店の取り扱い商品

衣料品・身の回り品 8店

主力商品	店
呉服・和装品	3
婦人服	2
靴・履物	1
学生服	1
毛糸(手芸)	1

文芸品 5店

主力商品	店
寝具	2
宝石・貴金属	1
仏壇仏具	1
人形	1

家庭用品 3店

主力商品	店
日用雑貨	2
金物・刃物類	1

サービス 1店

主力商品	店
理容	1

飲食料品 1店

主力商品	店
酒類	1

飲食店 2店

主力商品	店
和食堂	1
スナック	1

製造業 1店

主力商品	店
種類製造	1

卸売業 1店

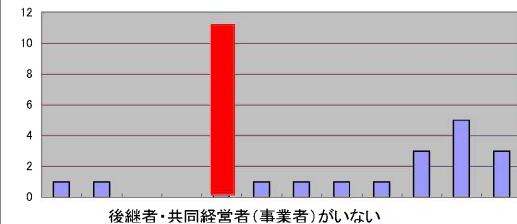
主力商品	店
酒類、菓子材料	1

■後継者問題による空き店舗増加の不安

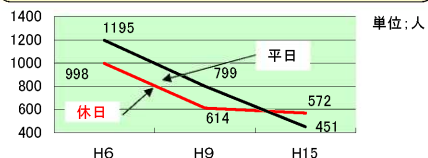
組合員への個別ヒアリング調査より、店主の高齢化が進み、世代交代(後継)が出来ず、今の代で閉店(廃業)を考えている店が多いことが分かった。商店の廃業により、商店街としての店舗の集積が低下する恐れがある。

<資料:桜町本通り商店街組合員へのアンケートより>

あなたの店舗を今後経営していく上での問題点は何か?



■通行量の減少=にぎわい感の不足



グラフを見ると、H6年からの10年間で商店街の通行量が休日、平日ともに約半減している。

桜町本通り商店街8~20時の歩行者と自転車の通行量
資料:豊田市内の通行量調査より

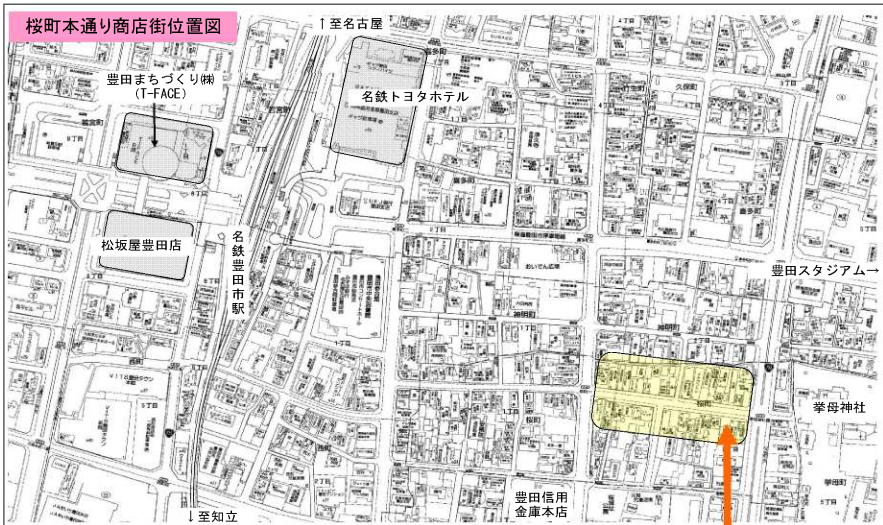
商店街の主な特徴

■歴史・文化に囲まれた商店街

- ・拳母神社は豊田市の初詣神社として有名である。毎年10月には拳母まつりが開催される。
- ・周辺には、拳母神社のほかにも、歴史や文化を感じる施設や建物がある。毎月8日の八日市(拳母神社)は大勢の人でにぎわっている。

八日市に訪れる人数は、1日あたり約3,300人(9~14時)である。また、女性の割合が78%と圧倒的に多い。訪れる人の年齢は60歳以上が75%で高齢者がほとんどである。八日市開催時の商店街通行量は約1,600人で平日の通行量の約3倍。

- ・桜城址公園
- ・個人所有の蔵や道具
- ・豊田信用金庫本店



■伝統と信頼に裏づけされた固定客(なじみ客)商売

先人たちが築き上げた商品の品質に寄せる信頼や、店主の人柄にひかれた固定客(=おなじみさん)が商店街での商売を支えている。

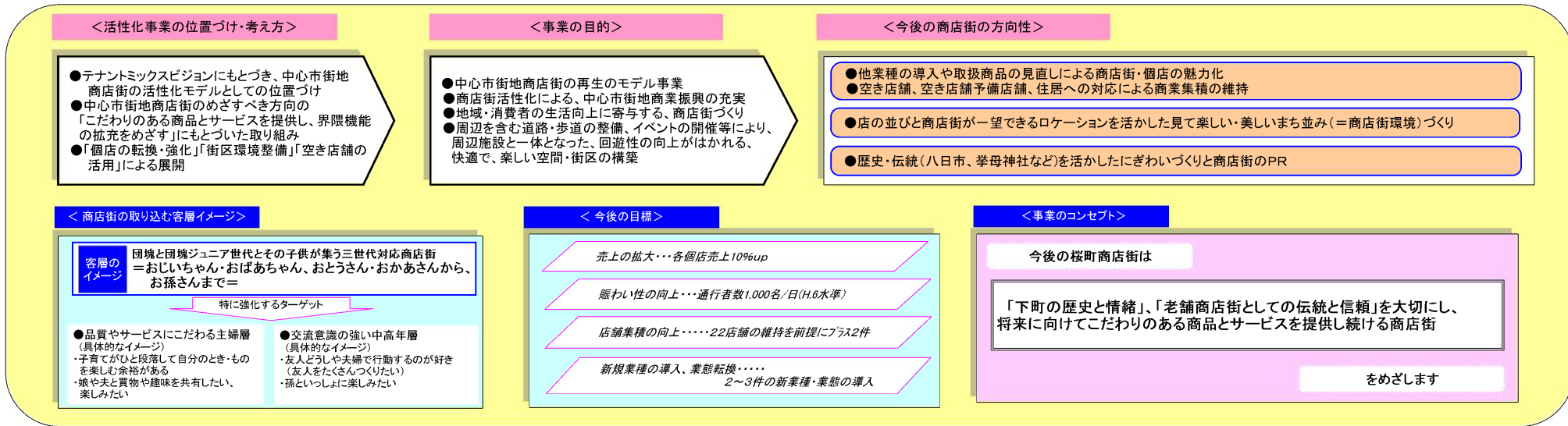
■商店街のまとまりの良さ

代々受け継がれた店舗が多く、顔見知りで連携がとれやすい。

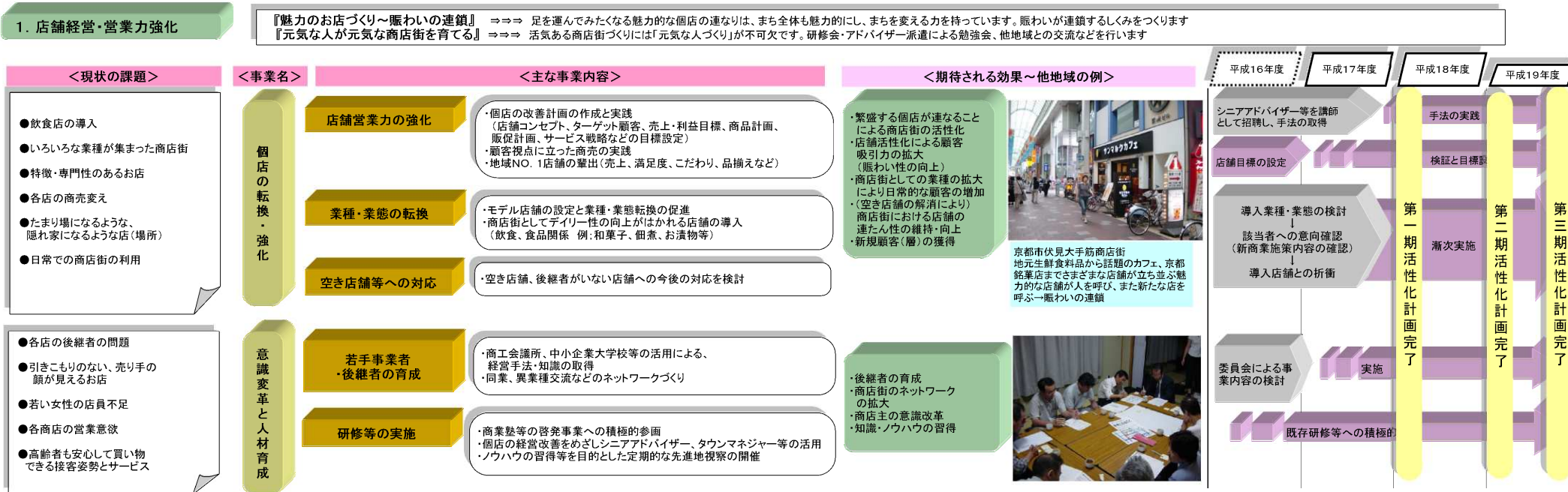
通りの沿線に店舗が向かい合わせに並び、商業集積が高い。

II. 活性化の基本方針・コンセプトと主な事業内容

■事業取り組みにあたって



■具体的事業内容



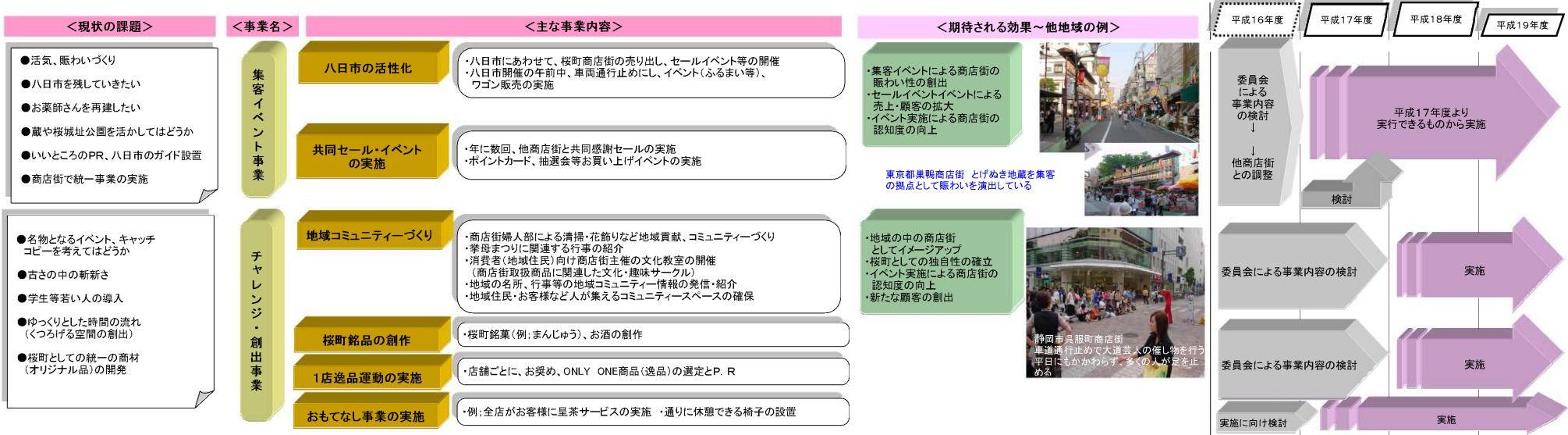
2. 商店街環境整備事業

『つながった街並み～桜町本通り商店街らしさの演出』 ⇒⇒⇒ 街並みが連続したまちは美しいものです。歴史を刻み、未来を拓く商店街の顔を見せるため、商店街としての統一感の演出、景観整備、ならびに周辺道路を含めた歩道整備を実施します
 『安心、安全なお買い物、歩くことが楽しい生活道路づくり』 ⇒⇒⇒ ペビーカーや高齢者が安心して通行できるように歩道の整備をします。歩くことが楽しくなる「ちょっとした仕掛け」を演出します



3. 商店街活性化事業

『歴史・伝統を活かした商店街～小さな文化拠点としての桜町の構築』 ⇒⇒⇒ 歴史・伝統のある「拳母神社」「桜城址公園」はもとより、お蔵や古い道具など「埋もれている宝物」は小さくても魅力的です。気軽に文化にふれられる機会や場所を提供します
 『ニュー桜町スタイル』の確立 ⇒⇒⇒ 中町(桜町)の町衆の心意気や精神を受け継ぎながら、「新たな価値観」を提供する商店街をめざします。



Ⅲ. 個店の現状の課題と経営改善の方向

■個店の将来とかかえる課題について（ヒアリング調査より抜粋）

自分の店舗の将来について(主な意見)

- 閉店・廃業を考えている
- 業態転換を考えている
- 別の場所に新たな店舗を出したい
- 取り扱い商品を変えたい
- 増床などの拡大を考えている
- 現状のままで良い

経営していく上での問題点(主な意見)

- 後継者・共同経営者がいない
- 今後売上が確保できるか不安
- 人材育成方法に不安
- 業態変更、業種転換を考えているが進め方がわからない
- 取り扱い商品を変えたいが新たな仕入先がわからない
- 事業拡大・転換しても大型店や郊外に太刀打ち出来るか心配
- イベント、宣伝、装飾展開など集客方法がわからない

■商店街の将来のすがた

(ヒアリング調査より抜粋、主な意見)

- 売れる個店が連なる商店街
- 賑わい・活気のある商店街
- 歩道・街路灯・植栽などの整備
- 統一感・特色のある商店街
- 特色のある店舗の導入

個店の課題・将来の考え方に合わせ、経営改善の方向を決め実践

取扱い商品変更

新規顧客の獲得

業態・業種転換

空き店舗

閉店・廃業

住居を店舗に変更

取り扱い品目の特徴づけ・絞込み

個店の転換・強化

「売れる店」をめざし、個店の改善計画の作成と、店舗レイアウト、商品、顧客、サービス、販促等の計画立案と実践

不足業種の導入

商店街における店舗集積、業種拡大による魅力度の向上

若手事業者・後継者の育成

外部からの事業者、後継者の導入
新規事業者の育成

一店逸品

店の特性と顧客のニーズを分析しつつ、売れる商品を絞り込み、営業力をつける

商店街全体のモチベーションを高める

意識変革と人材育成

経営手法・知識の取得、視察などによるネットワークづくり

研修等の実施

商業塾等による啓発、専門家による個店指導

若手事業者・後継者の育成

外部からの事業者、後継者の導入
新規事業者の育成

IV. 推進体制

①商店街組合に活性化事業推進委員会を設置し、活性化事業を推進

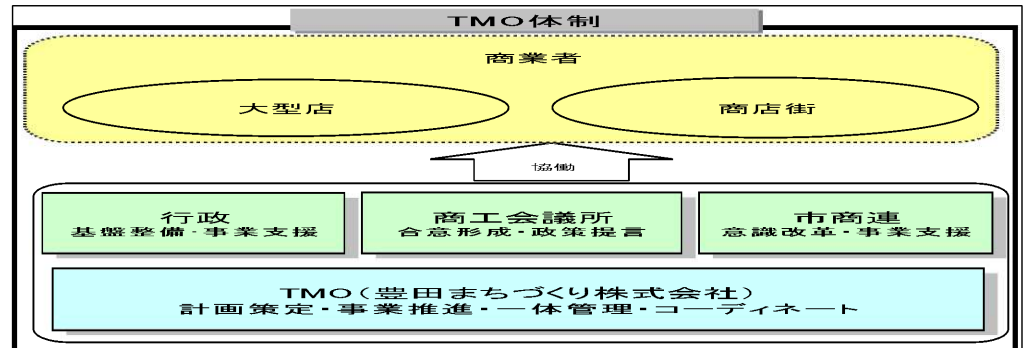
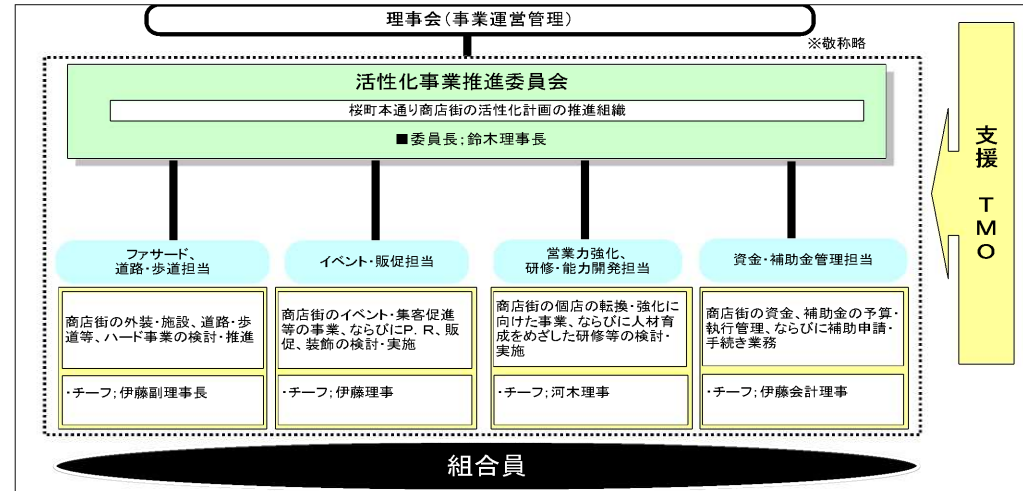
平成16年3月より、組合員参加の「勉強会」のなかで事業の考え方、内容を検討し、活性化計画を策定した。
 今後は、「活性化計画」のなかの多岐にわたる事業を、商店街が主体的に、効率的にすすめていくために、商店街組合内に「活性化事業推進委員会」を設置する。
 「活性化事業推進委員会」は、「商店街のファサード道路・歩道整備」「イベント・販促」「営業力強化、研修・能力開発」、「資金・補助金管理」で構成し、それぞれに担当責任者を配置し、理事会の事業運営管理のもと、活性化計画の具現化をはかる。

②桜町本通り商店街活性化事業の推進をTMOが支援

桜町本通り商店街の活性化事業について、TMOは商店街と一体となった活動を展開する。
 具体的には、活性化計画の各事業推進にあたって、企画・運営、情報提供、アドバイス、ならびにイベント等のコーディネートを行う。

③TMO体制(行政、商工会議所、市商連)による事業推進への支援

テナントミックスビジョンのなかで、中心市街地商業の活性化に向け、行政、商工会議所、市商連、TMOで構成する官民一体の体制、すなわちTMO体制で商業者の支援を行うことを表記した。
 以上の考え方から、桜町本通り商店街の活性化事業をTMO体制で支援する。



V. 事業後の運営計画

①事業実施内容の定期的な検証と効果測定 ～PDCAサークルの実践～

■個店の営業成果の検証

年度ごとに、売上、客数の増減等の調査と報告

■賑わい性の検証

中心市街地通行量調査、八日市通行量調査の実施

■消費者・市民の満足度・快適度の検証

モニター調査、来街者調査の実施

②新たな課題・事業の検討

■まちなみ協定締結の検討
業種導入、景観保護など

■商店街収益事業の検討

■お薬師さんの再建

③桜町活性化事業の位置づけと波及

■中心市街地商業における桜町本通り商店街の位置づけ
 ・桜町商店街、竹生線、南地区市街地再開発事業による商業街区の再生
 ・竹生線グレードアップにともなう商店街の魅力化

■商店街活性化事業の浸透と他商店街への波及
 桜町活性化事業が、他商店街の能動的な動きを喚起するすなわち、他の商店街にも活性化事業の展開が波及することにより中心市街地商店街の面的な活性化につながる

VI. 活性化計画策定の活動報告

①活性化計画策定に向けての勉強会

事前1	3月24日	活性化計画作成の進め方	第4回	7月29日	コンセプトづくり
事前2	4月15日	八日市通行量調査報告介	第5回	8月11日	計画案の説明
事前3	5月6日	彦根・長浜市視察について	第6回	8月23日	中間報告会
第1回	6月3日	商店街の特徴と課題について	第7回	8月30日	シニアアドバイザー招聘①
第2回	6月24日	商店街の特徴と課題の集約①	第8回	9月8日	シニアアドバイザー招聘②
第3回	7月8日	商店街の特徴と課題の集約②	第9回	9月13日	シニアアドバイザー招聘③



商店街の
 ・良いところ
 ・改善したいところ
 ・不足していること
 をテーマに皆さんが自分の思いを書き出し、「将来の商店街の姿＝桜町本通り商店街活性化計画」をまとめました。

この計画には皆さんの思いがいっぱいつまっています。

②-1活性化計画策定に向けての視察

日時	平成16年5月21日(金) 8時30分～18時
視察地	滋賀県彦根市、長浜市
内容	彦根商工会議所訪問、彦根市商店街ファサード事業、長浜市黒壁見学
参加	桜町本通り商店街12名、豊田市1名、豊田商工会議所2名、豊田まちづくり2名



②-2活性化計画策定に向けての視察

日時	平成16年6月9日(水)
視察地	広島県福山市
内容	福山市役所訪問、久松通り商店街見学
参加	桜町本通り商店街2名、豊田市2名、豊田商工会議所2名、豊田まちづくり2名



③活性化計画策定に向けての調査

調査名	八日市通行量調査
調査日時	平成16年4月8日(木) 9-14時
調査内容	八日市の開催時の拳母神社と桜町本通り商店街の歩行者をカウント調査



調査名	八日市ヒアリング調査
調査日	平成16年7月8日(木) 9-11時30分
調査内容	八日市訪問者の特性と商店街への要望などをヒアリング調査



調査名	モニター調査(グループインタビュー)
調査日時	平成16年9月11日(土) 13～17時
調査内容	豊田市内生活者へのグループインタビュー形式の調査より、桜町本通り商店街を中心とした豊田市中心市街地商店街への意見・ニーズを探る。



④シニアアドバイザーによる個店指導

アドバイザー	鈴木 博道氏
実施月日	平成16年8月30日、9月8日、13日
実施内容	個店の強化・転換を目指した講話と個店指導の実施。



<参考資料> 桜町本通り商店街位置図



□桜町本通り商店街振興組合員 22名

代表理事	鈴木万衛	光明堂仏壇店	仏壇・仏具	青年部長	加藤宏明	カ-&ギフト マルマス	酒類販売
副理事長	市古 信	増田屋金物店	金物店	監事/婦人部	伊藤敬子	ロマンD アルファ	オーダーメイド
副理事長	伊藤章一	イトウフン	寝具	婦人部	杉本敏子	マルタケ人形店	人形
会計理事	伊藤泰弘	太平製種	寝具製造	監事/婦人部	加納秀幸	そぶ川屋	呉服
理事	塚田保彦	時計とめがねの塚田	貴金属	組合員	成田正之	紫田屋呉服店	呉服
理事	稲熊敏和	菓子又商店	菓子材料卸	組合員	三宅 光	理容室 Be-1	理容
理事	杉本哲哉	きもの 丸定	呉服	組合員	鈴木麻次	古瀬問屋商店	日用雑貨
理事	伊藤正人	きもの処 川平屋	呉服	組合員	松原富久代	正富	和食堂
理事	松田 滋	学生衣料の勇吉屋	学生服	組合員	高野瀬一子	白藤商店	日用雑貨
理事	河木照雄	婦人服の山田屋	婦人服・シルバーカー	組合員	伊藤貞三	ふとんの寿屋ティサン	寝具
				組合員	安藤政子	毛糸のひつじや	毛糸
				組合員	浅井寿美江	メンバーズ祇園	バー